

KPIと中期経営計画から考える『ROE』向上に向けた実践的方策

セッション1：ROEの理解と向上を支えるKPIマネジメント～ROE（自己資本利益率）の基礎とROE向上のためのKPI（重要業績評価指標）マネジメント～

セッション2：中期経営計画にROEとその達成のストーリーを組み込む～戦略マップを使って、ROE（自己資本利益率）の向上を中期経営計画に組み込む～

※セッション毎のご参加が可能です。

《開催要領》 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

日時▶ セッション1：2015年 11月17日（火）13：00～17：00

セッション2：2015年 11月18日（水）13：00～17：00

会場▶ 企業研究会セミナールーム（東京：麹町）

《ご参加頂きたい方》

- ・ROEの向上やKPIマネジメントに関心を持つ経営管理者、経営企画、経理、IR、CSR、環境経営、新規事業開発担当 ほか
- ・中期経営計画に資本効率を意識したROEなどを組み込むことに関心を持つ経営管理者、経営企画、経理、新規事業開発担当 ほか

講師 キュー・エム・コンサルティング取締役社長 松原恭司郎 氏（公認会計士）

講師紹介 国際会計事務所系コンサルティング会社などを経て1992年に独立。バランス・スコアカード、ビジネスモデル、ERP関連のコンサルティング業務に従事。情報処理システム監査技術者。東北福祉大学兼任講師、元 中央大学大学院特任教授。主な著書に『ビジネスモデル・マッピング教本』（2013）、『松原流：戦略マップ／BSC実践教本』（2010）日刊工業新聞社、『図解「統合報告」の読み方・作り方』（2014）中央経済社などがある。

《申込書送付先》 FAX▶03-5215-0951 ※当会 HP からもお申し込み頂けます。 企業研究会Q 検索

■受講料：1名（税込・資料代含） ※申込書をFAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

両日参加 正会員 43,200円（本体価格 40,000円） 一般 46,440円（本体価格 43,000円）

1日のみ参加 正会員 34,560円（本体価格 32,000円） 一般 37,800円（本体価格 35,000円）

受講希望に「✓」をご記入下さい。		<input type="checkbox"/> 11月17日参加 (151573-0101)		<input type="checkbox"/> 11月18日参加 (151573-0101)	
ふりがな					
会社名					
住所					
TEL			FAX		
ふりがな			所 属		
ご氏名			役 職		
E-mail					

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

- 参加要領：申込書はFAX、または下記担当者宛E-mailにてお送り下さい。当会ホームページからもお申し込み頂けます。後日（開催日1週間～10日前までに）受講票・請求書をお送り致します。
- ※よくあるご質問（FAQ）は当会HPにてご確認ください。（[TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問]）
- ※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。
- お申込・お問合わせ先：企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/川守田 E-mail:kawamorita@bri.or.jp
TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町 M-SQUARE 2F

・プログラム・

セッション1：11月17日（火）13時～17時
「ROEの理解と向上を支えるKPIマネジメント」

■開催にあたって
KPI(重要業績評価指標)が注目される中で、アベノミクスの成長戦略による一連の施策を受けて、ROE(自己資本利益率)を経営目標に掲げる企業が増えてきています。そこで、①KPI、中でもROE向上が求められる背景を確認し、②ROE向上の三つの要素(利益率×回転率×レバレッジ)と、その向上策にMAP展開方式を用いて検討し、③財務と非財務の様々なKPIのタイプやサンプルを例示すると共に、④KPIの設定・評価・改善というKPIマネジメントの全体像を分かり易く解説します。

- プログラム
- 【Why】
- ROE（自己資本利益率）とKPI（重要業績評価指標）が注目される背景
 - ROE向上要求の包囲網（アベノミクスの成長戦略他）
 - 経営戦略、ビジネスモデルの見える化
 - 投資家との対話の充実～「統合報告」
 - KPIの基本
 - KPIの定義
 - KPIのタイプ（財務と非財務、先行と遅行、マネジメント・レベル別、機能別と機能横断、トランスフォーメーション、内部管理と外部公開他）
 - ROE他の総合経営指標
 - 財務諸表の構造の理解
 - ROE（自己資本利益率）、ROA（総資本利益率）他
 - KPIマネジメントに役立つ思考法とフレームワーク
 - KPIマネジメントに役立つ思考法（システム思考、統合思考他）
 - KPIマネジメントに役立つフレームワーク（KPIツリー展開方式、MAP展開方式）
 - ROE向上のレシピ
 - 三つの戦略タイプ
 - 様々なビジネスモデル・パターン
 - 適切なKPIの選定法
 - KPIのショーケース
 - 財務に関するKPI
 - マーケティング／顧客に関するKPI
 - バリューチェーンに関するKPI
 - 経営資源／知的資本に関するKPI
 - ESG（環境・社会・ガバナンス）に関するKPI
 - KPIマネジメント・レベルの向上に向けて
 - KPIマネジメントの成熟度診断
 - KPIマネジメント・サイクル

セッション2：11月18日（水）13時～17時
「中期経営計画にROEとその達成のストーリーを組み込む」

■開催にあたって
アベノミクスの第三の矢・成長戦略の後押し等もあり、資本効率を重視したKPIであるROE(自己資本利益率)を中期経営計画の経営目標に掲げる企業が増加しています。本セミナーでは、『松原流：戦略マップ／BSC実践教本』の著者が、ROEなどの財務KPIと、その向上のストーリーを明確にする戦略マップ／BSC(バランス・スコアカード)の基本と中期経営計画への適用法について分かり易く解説します。

- プログラム
- ROEを始めとする資本効率を意識した財務KPIと中期経営計画
 - ROE（自己資本利益率）が注目される背景（アベノミクスの成長戦略他）
 - ROE、ROA（総資本利益率）、ROIC（投下資本利益率）他
 - 財務KPIと中期経営計画
 - 事業戦略と中期経営計画の策定
 - 戦略論の概要と中期経営計画
 - 中期経営計画に関する課題と対応策
 - 戦略マップ／BSC（バランス・スコアカード）を中期経営計画の策定と運用に活用する
 - 戦略マップ／BSCの基本
 - ROE等の総合経営指標と戦略マップ／BSC
 - 中期経営計画の策定と運用に戦略マップ／BSCを採用するメリット
 - ビジネスモデルと中期経営計画
 - ビジネスモデルの基本
 - ビジネスモデルも見える化のフレームワーク（BM-Tree、BM-Map、BM-DB）
 - ビジネスモデルを意識した中期経営計画の策定
 - 戦略マップを使ったROE向上のストーリーの描き方
 - 戦略マップのテンプレート（戦略タイプ別）
 - 戦略マップを使ったROE向上のストーリー展開のケース・スタディー

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい！ 一枚のパンフレットで 2種類のセミナーをご案内しております。